

第5章 持続可能な社会を担う人づくり

第1節 環境学習・環境教育の推進

1 環境学習・環境教育の推進

(1) 環境教育副読本

本市では、1996年度（平成8年度）から、環境教育副読本「わたしたちのくらしと環境」を作成し、市内の小学校に配布しています。2020年度（令和2年度）は、市内の小学校（4年生）に向けて5,071部を配付しました。また、市内の小学校を対象とした環境やごみに関する出前授業において、副読本を活用しました。



(2) 出前授業・出前講座

市内の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間などにおいて、環境をテーマに、地域の特色を活かした環境学習に取り組みました。

本市では、学校教育や社会教育の場における環境学習を推進していくため、小・中・高校生や地域住民を対象に、ごみや環境に関する出前授業・出前講座を行っています。

<2020年度（令和2年度）実績>

	廃棄物		水・大気		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
保育所	0	0	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0	0	0
小学校	23	1,402	6	300	29	1,702
中学校	1	4	1	7	2	11
高等学校	1	280	0	0	1	280
その他	15	452	1	29	16	481
計	40	2,138	8	336	48	2,474

(3) 環境学習応援プロジェクト

福山市内の小・中学校から環境保全活動に関する実施計画を募集し、活動を支援しました。

<環境学習応援プロジェクト>

○2020年度（令和2年度）支援校：6校

- ・内浦小学校 ・新市小学校 ・引野小学校
- ・深津小学校 ・箕島小学校 ・神村小学校



(4) ふくやま環境大学

2019年(令和元年)10月1日に、「食品ロス削減の推進に関する法律」が施行されたことを受け、国が10月を食品ロス削減月間として定めました。食品ロスの問題は、2015年(平成27年)9月に開催された国際連合総会において採択された2030年(令和12年)を期限とする持続可能な開発のための国際開発目標の中においても食料廃棄の減少が重要な柱と位置付けられていることから、2020年度(令和2年度)はふくやま環境大学のテーマを「食べる営みから考える地球環境問題～食品ロス削減を考える～」として開催しました。

期 間 2020年(令和2年)9月～11月

講座数 本講座3回

受講生 延べ79人



(5) 環境関連施設等バス見学

市民団体を対象にした、箕沖地区の次世代エネルギー施設やごみ処理施設、リサイクル施設などの環境関連施設を対象に、借上げバスによる見学を実施しています。

※2020年度(令和2年度)は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため実施していません。

(6) こどもエコクラブ

子どもたちの自主的な環境学習を支援するために、環境省では1995年(平成7年)から「こどもエコクラブ事業」を実施しています。本市では、2021年(令和3年)3月末現在、6クラブ459人が登録しています。

環境教育・環境学習で扱われる内容は、身近な環境問題やごみ問題に関するものから、環境科学に関するもの、更にはライフスタイルや社会経済活動に関することまで多岐にわたっています。

2 環境学習資材の提供

本市では、多くの市民に環境問題について関心を持っていただくため、環境啓発パネルなど環境啓発用品の貸出を行っています。

<2020年度（令和2年度）実績>

種 類	貸出回数	貸出枚数
3 R	0	0
地球温暖化	1	2
絶滅危惧種	0	0
生物多様性	0	0
合計	1	2

第2節 環境啓発の推進

1 体験講座の充実

(1) eco ちゃれんじ講座等

福山市リサイクルプラザ（愛称：エコローズ）では、施設の見学や視察の受入れを行うとともに、eco ちゃれんじ講座や情報提供の場を設け、ごみの発生抑制やリサイクルの啓発推進を行っています。

・事業内容

内容	年度	2019年度（令和元年度）		2020年度（令和2年度）	
来館者数計		17,938人		10,897人	
eco ちゃれんじ講座 ※2018年度より名称変更	136回	3,111人		111回	1,292人
貸館業務	9回	108人		52回	854人
視察・見学	80回	3,097人		29回	999人
イベント等	4回	3,936人		2回	2,973人
施設利用	—	7,686人		—	4,779人

・eco ちゃれんじ講座

【2020年度（令和2年度）】

講座名	回数	講座名	回数	講座名	回数
こども対象講座	28	企業特別講座	1	新聞エコバッグ	1
布ぞうり	7	サンドブラスト	5	水引	3
布リフォーム	7	PPバンド	2	ステンドグラス	2
押し花	10	籐手芸	7	紙すき	1
木工	12	刺繍	3	ジオラマライト	3
ガラス溶融	12	かずら手芸	2	合計	111
包丁研ぎ	4	革のリメイク	1		

(2) 水生生物調査

川の中には、魚、水生昆虫、貝、ヒル、イトミミズなどたくさんの生き物が生息していますが、水がきれいであるか、汚れているかによって生息する生物の種類が異なります。その性質を利用して、川の汚れがどのくらいか、簡単に調べる方法として「水生生物による水質の調査法」が環境省と国土交通省の合同で示されています。これは、指標（ものさし）となる生物の生息状況を調べることによって、水の汚れの状態を“きれいな水（水質階級Ⅰ）”“ややきれいな水（水質階級Ⅱ）”“きたない水（水質階級Ⅲ）”“とてもきたない水（水質階級Ⅳ）”まで大きく4つのランクに分けられています。

特別な道具を必要とせず、比較的簡単に調査することができることから、水辺に親しみながら体験的な学習をすることができます。

2020年度（令和2年度）は、学校、市民団体等8団体336人が参加し、市内の6河川について調査を行いました。



（3）磯の生き物調査

磯に生息している生き物を指標として、海域の水質状況を判定する方法で、「磯の生物による水環境の簡易評価法」があります。緑藻類、紅藻類、甲殻類、貝類、カイメン類、ホヤ類など大きく6種類の生き物の生息を確認することにより、海の汚れの状態を“大変きれいな海”“きれいな海”“ややよごれた海”“よごれた海”まで大きく4つのランクに分けられています。

磯での調査は、不思議な生き物の発見等、海辺に親しむとともに環境教育の一環として、環境カウンセラー及び環境保全アドバイザーを講師として招き、仙酔島の水環境の評価を行いました。

日時 2020年（令和2年）8月1日（土）13：00～17：00

場所 鞆公民館，仙酔島海浜（彦浦）

対象 環境保全に関心のある方なら誰でも参加可能

内容 磯に生息する生物を見て、触れて、楽しく調査し、仙酔島の水環境について評価

参加者 48人



2 環境イベント等での啓発

（1）ごみ収集車による啓発活動

ア 「環境保全ポスター」をごみ収集車に掲示

（2007年〔平成19年〕1月～）

「環境保全ポスター」の最優秀賞及び特別賞の作品をごみ収集車に掲示しています。



イ ごみ収集車のナンバープレートを「530〔ごみゼロ〕」に統一

(2007年〔平成19年〕9月～)

環境センターのごみ収集車のナンバープレートを「530〔ごみゼロ〕」に統一しています。



ウ ハイブリッドディーゼルのごみ収集車，ダンプ車を導入

(ごみ収集車 2008年〔平成20年〕11月～，ダンプ車 2009年〔平成21年〕12月～)

ごみ収集における二酸化炭素排出量削減をめざす取組の一環として，ディーゼルエンジンと電動式モーターを組み合わせた「ハイブリッドディーゼル」のごみ収集車及びダンプ車をそれぞれ4台導入し，各環境センターに配備しています。

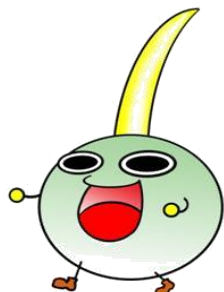


ハイブリッドディーゼルのごみ収集車 ハイブリッドディーゼルのダンプ車

(2) 「くわいちゃん」，「環境特捜セイバーレンジャー」による啓発活動

「くわいちゃん」は，2007年度（平成19年度）に環境をより身近に感じ，そして効果的な事業を展開するため，市にちなんだ動植物，特産物，自然などを生かした環境イメージキャラクターを募集し，多くの応募の中から「くわいちゃん」が選ばれました。まっすぐのびた芽でエコな情報をキャッチし，みんなにエコな芽が出るように各環境イベントやパンフレットなどに使用し啓発活動を行っています。

「環境特捜セイバーレンジャー」は，福山の環境を守るため様々なイベントに登場し，子どもたちに環境の大切さを伝えています。また，市の広報やホームページなどを通じて，ごみの分別や環境にやさしい取組などについての啓発活動を行っています。



福山市環境イメージキャラクター
「くわいちゃん」



福山の環境を守るヒーロー
「環境特捜セイバーレンジャー」

○ 2020年度（令和2年度）「くわいちゃん」の啓発活動内容

12月 3日(木)	ZIP!「NOW・ニッポン」(広島テレビ)
12月 7日(月)	あさイチ「おでかけLIVE」(NHK)
3月 6日(土)	ロボ人ピック

(3) 「ごみ・環境情報」の福山市メール配信サービス


事前に登録された方の携帯電話やパソコンに、防災情報や安心・安全情報、イベント情報を配信するサービスを実施しています。2015年(平成27年)12月1日からは、新たに「ごみ・環境情報」の 카테고리を追加し、休日のごみの受入れや収集に関する情報、環境部主催のイベント情報などを分かりやすく配信しています。

(4) 「ごみ分別ガイド」の福山市AI案内サービス

2020年(令和2年)10月28日からAIチャットボットサービス「福山市AI案内サービス」を実施しています。対話形式でごみ分別等の問い合わせに自動回答する「ごみ分別ガイド」を導入しています。

福山市AI案内サービス TOP CLOSE

「ごみ分別ガイド」入力画面

 ごみの分別や収集に関する質問に答えるよ。
勉強中で答えられない質問もあるけど、たくさん質問してね♪
名前や住所などの個人情報の入力はいらないように気を付けてね♪

[収集日はこのページで確認してみよう!!](#)

質問を入力してください… 送信

(5) 環境企画展

外来種や生物多様性をテーマにした環境企画展を実施しました。

【1期目】

日時 2020年(令和2年)12月8日(火)～
2021年(令和3年)1月11日(月)

場所 福山市リサイクルプラザ

参加者 667人

内容 外来種をテーマに、パネル展示、模型展示、動画配信などを行い、期間中には親子で参加できるイベントを実施しました。



【2期目】

日時 2021年（令和3年）1月26日（火）～
2021年（令和3年）3月28日（日）

場所 福山市リサイクルプラザ

参加者 2,306人

内容 生物多様性をテーマに、パネル展示、標本展示、動画配信に加え、館内外を利用したクイズラリーや、親子で参加できるイベントを実施しました。

また、「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」の協力のもと、スイゲンゼニタナゴの生体展示を行いました。



（6）マイバッグの推進啓発

2020年（令和2年）7月1日から、レジ袋の過剰な使用の抑制などを目的に、プラスチック製買物袋を扱う小売店を営むすべての事業者を対象に、全国一律でレジ袋の有料化がスタートしました。

身近に取り組めるマイバッグの利用は、家庭ごみの発生抑制、海洋プラスチックごみ問題の対策など、幅広い課題に対応する行動として、市民や事業者への積極的な啓発活動を推進しています。

《マイバッグ持参に係る周知活動》

2020年（令和2年）7月1日から始まったレジ袋有料化に合わせてマイバッグの利用を促すため、市内3か所で周知活動を実施しました。

【エブリイ緑町店】

日時：7月1日（水）9時～10時

【ハローズ緑町店】

日時：7月1日（水）15時～16時

【北部市民センター】

日時：7月1日（水）10時～15時



《巡回展「マイバッグを持って買い物に行こう！」》

期 間	会 場
6月24日～7月9日	まなびの館ローズコム（1階ホール）
7月10日～8月12日	かななべ市民交流センター（1階エントランスホール）
8月13日～9月9日	松永市民センター（1階市民サロン）
9月10日～10月13日	北部市民センター（1階市民サロン）
10月14日～11月20日	東部市民センター（1階市民サロン）

※6月24日～3月31日の期間、リサイクルプラザにおいてマイバッグ利用推進企画展を実施しました。

《マイバッグ利用促進啓発ポスターの製作・掲出》

マイバッグの持参を促す啓発ポスターを製作し、スーパー・コンビニ等の小売店や公共施設に掲出をしていただき、市民・事業者へ周知・啓発を図りました。

【主な掲出先】

市内の小売店 21 事業者、本庁舎等公共関連施設、JR 福山等駅内、SNS 等電子媒体、情報誌など

【マイバッグ利用促進啓発ポスター】



第3節 環境コミュニケーションの推進（公害苦情）

1 定期的な意見交換

シャープ福山セミコンダクター株式会社の事例

シャープ福山セミコンダクター株式会社（大門町旭1番地）では、積極的に地域住民とのコミュニケーションを推進するために、事業者、地域住民（野々浜学区）、行政（福山市）の三者による事業所排水の採水測定を行っています。三者が集まって排水を採水して、それぞれ別の分析機関にて分析を行い、後日その結果を持ち寄り照合して、問題がないことを三者で確認しています。三者が集まり、排水の話だけではなく、様々な意見を交換できる機会の一つにもなっています。



三者採水の様子（出典：SHARP 2020年度福山事業所環境レポート）

2 公害苦情

（1）公害苦情に係る相互理解の促進

公害苦情解決の主な解決内容をみると、大気汚染については、野焼きの中止、焼却炉の適正管理に努めるなどです。

水質汚濁については、排水処理施設の設置、施設の適正な維持管理、汚泥・油の回収などです。

騒音・振動については、窓・シャッターを閉めての操業、音響機器などのボリュームを下げる、早朝・夜間の作業には気をつけるなどです。

悪臭については、設備の改善や原因物質の除去等により改善しています。

このように、公害苦情の多くは、発生源に対する適切な指導と、発生源者が周囲の環境に配慮した操業を心掛けることで解決します。

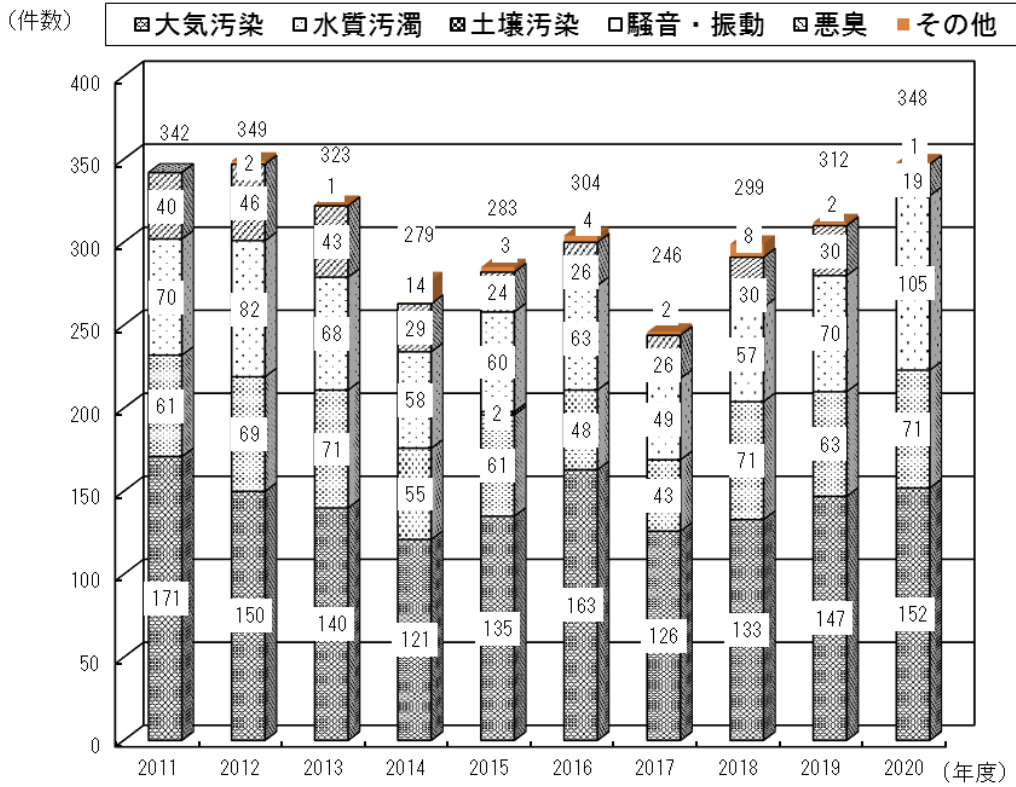
（2）年度別及び月別苦情件数

2020年度（令和2年度）に、市民から寄せられた公害苦情件数は348件でした。

その種類別内訳は、大気に関するもの152件（43.7%）、水質に関するもの71件（20.4%）、騒音・振動に関するものが105件（30.2%）、悪臭に関するもの19件（5.5%）、その他が1件（0.3%）となっています。

また、月別では、平均して月に約30件の苦情が寄せられています。

公害苦情件数の経年変化



2020年度（令和2年度）月別苦情件数

